

問1 都市部では、周辺地域から多くの人々が仕事や学習のために集まります。ある地域の居住者である「夜間人口」に対し、その地域に通勤・通学者を加えた、昼間の時間帯における人口のことを何と呼びますか。最も適切な名称を答えなさい。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 昼間人口                      2. 労働人口                      3. 活動人口                      4. 定住人口

問2 横浜市、川崎市、さいたま市などは、東京都心部へ通勤・通学する人々が多く住む「ベッドタウン」としての性格を持っています。これらの都市の人口統計における一般的な傾向として、正しいものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 昼間人口よりも、そこに居住している夜間人口のほうが多い。      2. 昼間人口が夜間人口を大幅に上回り、昼夜間人口比率が200%を超える。      3. 他地域からの通勤者が非常に多いため、昼間人口と夜間人口がほぼ一致する。      4. 夜間に都心部へ移動する人が多いため、夜間人口が極端に少なくなる。

問3 東京都、埼玉県、茨城県の人口動態をまとめた資料において、埼玉県の「昼夜間人口比率」が100%を下回っている状態を正しく解釈したものはどれか。（2021年 徳島公立入試 類似）

1. その地域に住んでいる「夜間人口」よりも、仕事や通学のために滞在している「昼間人口」の方が少ない。      2. 県外から転入してくる人の数よりも、県外へ転出していく人の数の方が多いため「社会減」の状態にある。      3. 15歳未満の「年少人口」が、65歳以上の「老年人口」の割合を大きく上回っている。      4. 昼間に県内の工場や商業施設で働く労働者の数が、夜間に県内で消費活動を行う人の数を超えている。

問4 日本の貿易における輸出拠点の統計データにおいて、成田国際空港は名古屋港などと並んで常に上位に位置しています。この空港から輸出される製品の特徴として最も適切なものを、次の説明の中から選びなさい。（2021年 香川公立入試 類似）

1. 重量があり船舶での輸送が適している鉄鋼や大型の工作機械。      2. 世界各地へ専用の運搬船を用いて大量に輸出される自動車。      3. 小型・軽量で重量あたりの価格が高い、半導体等製造装置などの高付加価値製品。      4. 価格が安く大量輸送が前提となる、海外から輸入された衣類や日用雑貨。

問5 千葉県の東京湾沿岸に広がる工業地域では、製造品出荷額の内訳において化学が約22.5%、石油・石炭製品が約19.8%、鉄鋼が約14.5%を占めるなど、重化学工業の割合が非常に高いという特徴があります。この工業地域の名称を答えなさい。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 京浜工業地帯                      2. 京葉工業地域                      3. 中京工業地帯                      4. 鹿島臨海工業地域

問6 神奈川県は日本でも有数の製造品出荷額を誇りますが、その工業的特色を支える京浜工業地帯の成り立ちや構造について、最も適切な説明を選びなさい。（2026年 和歌山公立入試 類似）

1. 東京湾沿岸の良好な港湾環境を活かして埋め立てが進められ、製鉄所や石油化学コンビナート、自動車工場などの重化学工業が発展した。      2. 内陸部の広大な平野部を活用し、周辺の農村から供給される農作物を原料とした食品加工や繊維工業などの軽工業が中心となっている。      3. 都心の消費地に近い利点を活かし、住宅街の中に小規模な町工場が密集して、衣類や日用雑貨などの生活用品を主に生産している。      4. 県内で産出される石炭や鉄鉱石などの豊富な地下資源を背景に、明治時代から官営模範工場を中心とした重工業化が進められた。

問7 群馬県の工業は、製造品出荷額等の約31.2%を「輸送用機械」が占めているという特徴があります。このような産業構造が形成された背景を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2021年 福岡県公立入試 類似）

1. 内陸部に位置する利点を生かし、広い工場用地と高速道路網を活用した自動車の生産拠点となっているため。      2. 大規模な石油コンビナートが形成され、原料の輸入から製品の出荷までを一貫して行っているため。      3. 水資源が豊富な山間部において、古くから行われてきた製糸業や繊維工業が現代でも主流であるため。      4. 広大な農地で収穫される農作物を加工するため、食料品工業が県全体の出荷額の多くを占めているため

問8 日本の太平洋岸を低緯度から北上する暖流で、別名を日本海流と呼ばれる海流はどれですか。最も適切なものを選んでください。（2022年 徳島公立入試 類似）

1. 黒潮                                  2. 親潮                                  3. 対馬海流                              4. リマン海流

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 昼間人口	都市の中心部では、オフィスや学校が集中しているため、周辺の住宅地から多くの人々が移動してきます。この通勤・通学による流入人口を、もともとその場所に住んでいる居住人口（夜間人口）に加え、そこから他へ出かける人を差し引いたものを昼間人口と呼びます。都心部では昼間人口が夜間人口を大きく上回るのが一般的です。
問2	<b>答え 1</b> 昼間人口よりも、そこに居住している夜間人口のほうが多い。	ベッドタウンと呼ばれる周辺都市では、朝の時間帯に都心のオフィスや学校へ向けて多くの住民が移動（流出）します。その結果、昼間にその都市に残っている人数は、夜間にそこで寝泊まりしている居住者数よりも少なくなります。つまり、昼夜間人口比率（夜間人口に対する昼間人口の割合）が100%を下回るのがこれらの都市の特徴です。
問3	<b>答え 1</b> その地域に住んでいる「夜間人口」よりも、仕事や通学のために滞在している「昼間人口」の方が少ない。	昼夜間人口比率は、夜間の居住人口を100とした場合の昼間人口の割合を示します。数値が100を下回るということは、昼間にその地域にいる人口が、夜間に住んでいる人口よりも少ないことを意味します。これは、住宅地としての機能が強く、仕事や学びの場が県外（主に東京都）にある人が多いことを裏付けています。
問4	<b>答え 3</b> 小型・軽量で重量あたりの価格が高い、半導体等製造装置などの高付加価値製品。	航空輸送は船舶輸送に比べて運賃が高いため、成田国際空港のような空の港では、重量が軽く、かつ価格が高い「高付加価値製品」が多く扱われます。具体的には、半導体等製造装置や電子部品、医薬品などが挙げられます。一方で、自動車や鉄鋼は重量があるため、主に名古屋港などの海の港から船舶で輸出されます。
問5	<b>答え 2</b> 京葉工業地域	千葉県臨海部に位置する京葉工業地域は、大規模な埋め立て地に石油コンビナートや製鉄所が計画的に配置されたことで発展しました。そのため、他の工業地帯と比較しても、化学、石油・石炭、鉄鋼といった重化学工業の出荷額が占める割合が極めて高いのが特徴です。
問6	<b>答え 1</b> 東京湾沿岸の良好な港湾環境を活かして埋め立てが進められ、製鉄所や石油化学コンビナート、自動車工場などの重化学工業が発展した。	神奈川県の高い製造品出荷額は、京浜工業地帯の重化学工業によって支えられています。東京湾の波が穏やかで水深が深いという地形的利点を活かし、原材料の輸入や製品の輸出に便利な臨海部へ大規模な工場が集積しました。現在では加工組立型の自動車工業などの割合も高く、東京都から続く情報通信業の発展も相まって、多角的な産業構造を持っています。
問7	<b>答え 1</b> 内陸部に位置する利点を生かし、広い工場用地と高速道路網を活用した自動車の生産拠点となっているため。	群馬県などの北関東の内陸部では、かつての製糸業などの伝統を土台にしつつ、戦後は広い土地と関越自動車道や北関東自動車道などの交通網の整備を背景に、自動車工場が多く進出しました。これにより、輸送用機械が県の主要な産業としての地位を確立しました。
問8	<b>答え 1</b> 黒潮	日本の太平洋側には、南から暖かい海水を運ぶ「暖流」である黒潮が流れています。この海流は「日本海流」とも呼ばれ、日本の気候に大きな影響を与えています。一方、北から流れてくる寒流は親潮（千島海流）であり、これらが東北地方の沖合（潮目）でぶつかり合うことで豊かな漁場が形成されます。